

# 熊本のバス利用者2倍構想

## 世界的半導体工場の熊本進出に備えた脱クルマ依存への挑戦

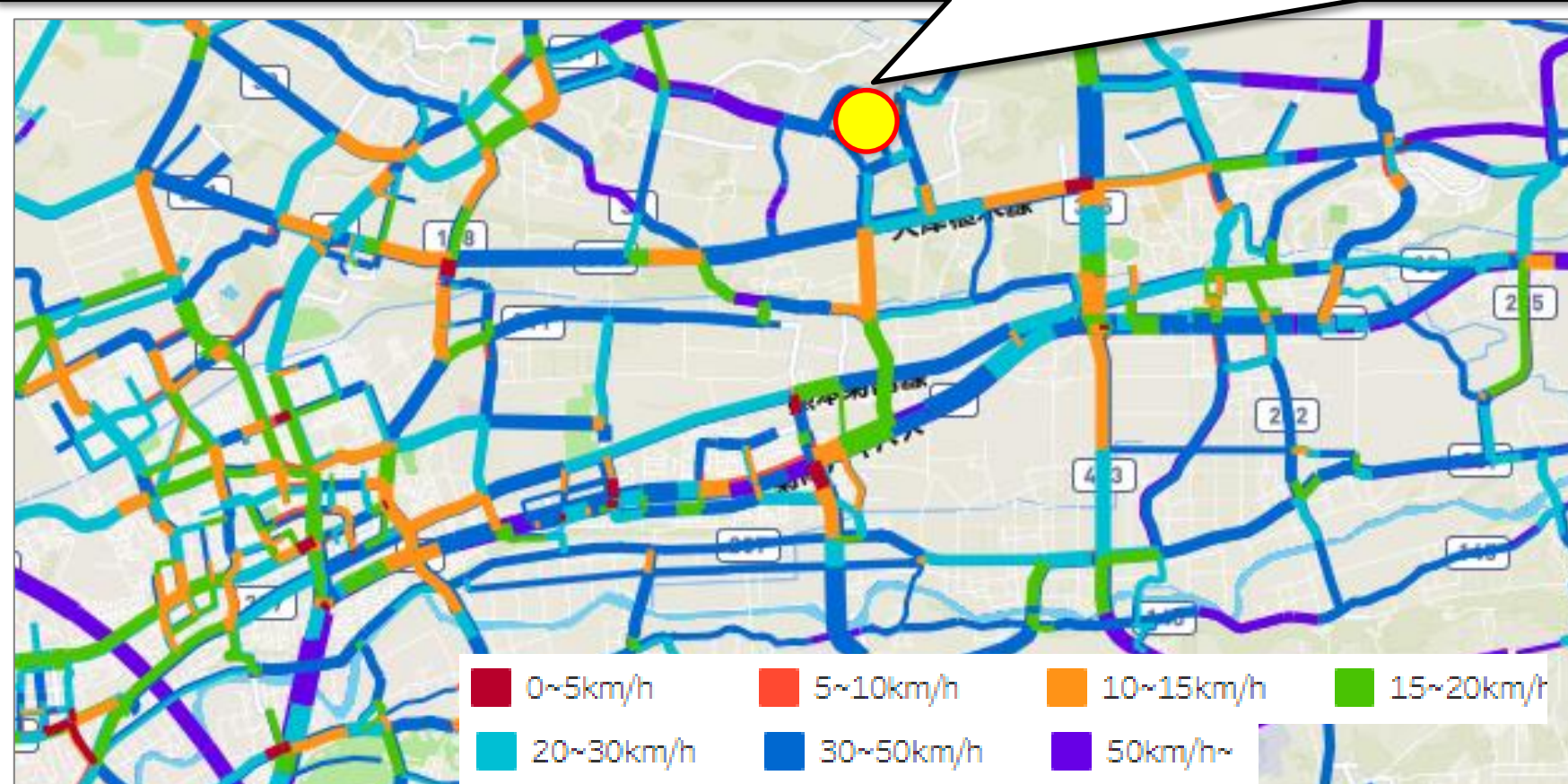
西園知哉（産交バス(株)共同経営推進室）、下村一路（熊本電気鉄道(株)）、金丸晃大（(株)ケー・シー・エス）

太田恒平（(株)トラフィックブレイン）、今釜卓哉（九州産交バス(株)共同経営推進室）

### セミコンテクパーク周辺の交通渋滞

セミコンテクパーク（@熊本県菊池南部）

立地企業 26社  
総従業員数 9,324人  
自家用車分担率 86.7%



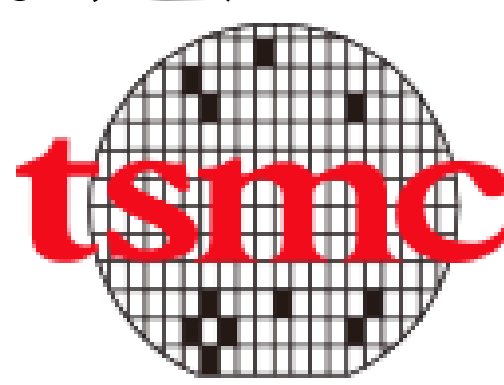
出典：ホンダプローブデータより  
※2021年11-12月平均旅行速度 平日朝7:30-8:30

▲セミコンテクパーク周辺における交通渋滞状況（旅行速度図）



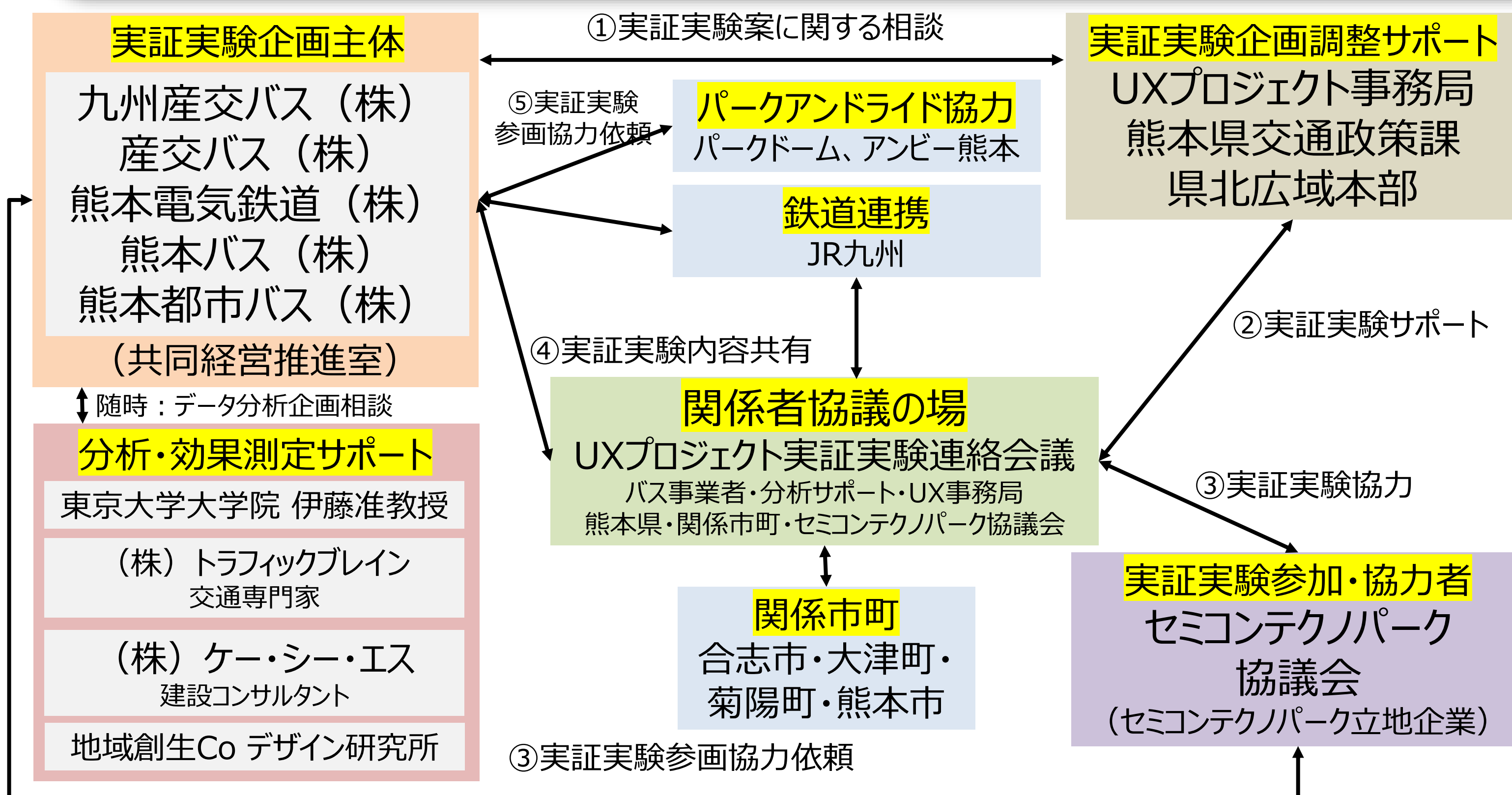
▲セミコンテクパーク周辺における交通渋滞状況

1,700名の通勤需要が追加



2024年度工場稼働予定

### バス事業者・工業団地企業・県・関係市町・鉄道事業者・専門家の協働体制

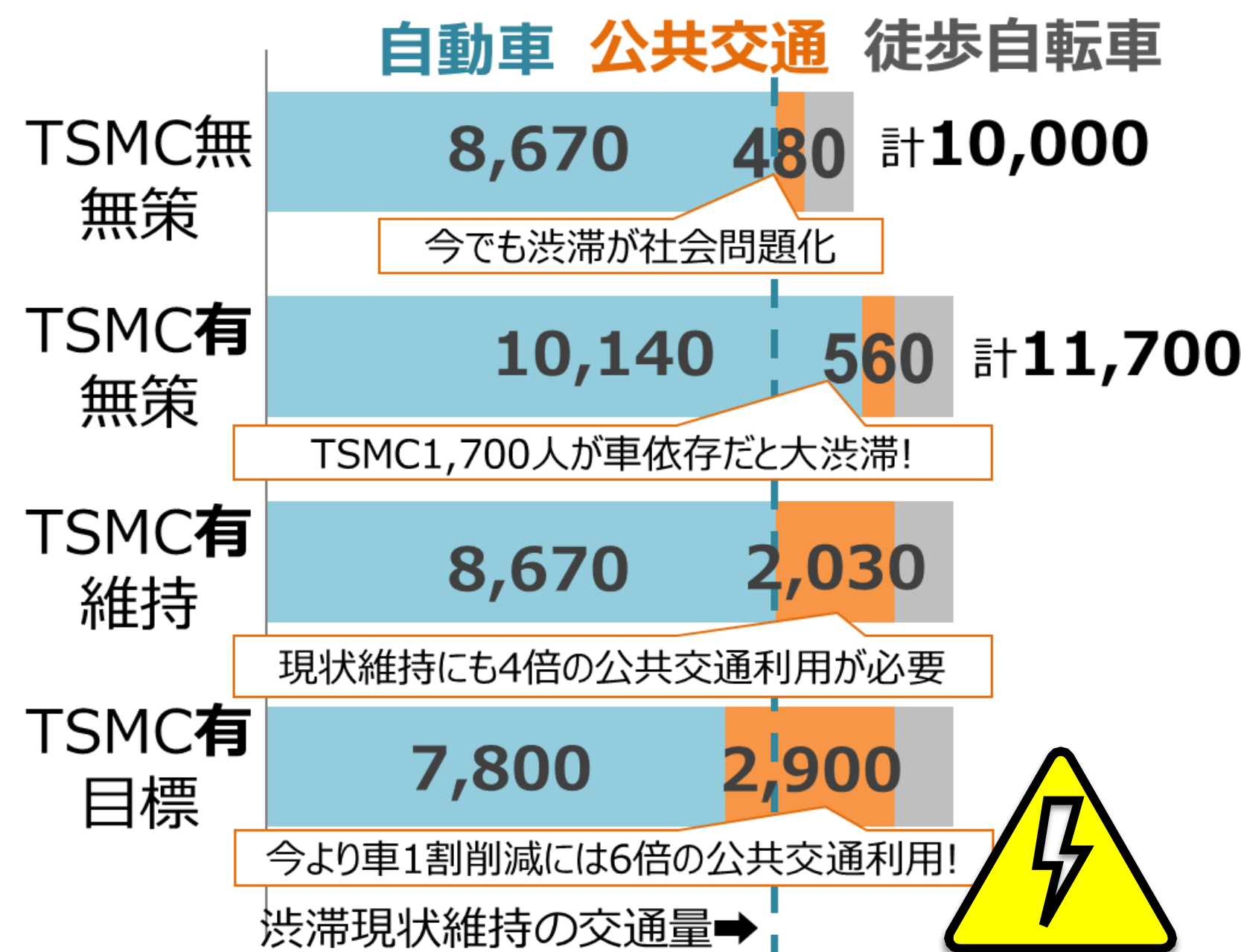


### 路線バスが不足



常時満席  
バス停では長蛇の列

### 現状でも深刻な渋滞が悪化



でも運転手不足でサービス拡充できない

交通渋滞の深刻化が懸念 / 対策が急務

### ノーマイカーデー実証実験 概要・利用実績

実施日・気候	令和5年1月27日(金) 1.9℃ 少雨
無料通勤バス	出勤時206名、帰宅時182名
【4路線24往復】	
P&R【2か所】	14台(設定台数115台)
セミコン通勤バス	通勤時453名、帰宅時281名
【9便で増台】	(平時(R5.1.13)通勤時434名、帰宅時353名)
豊肥本線	増結便の乗車率(実験当日/平時)
【2便で増結】	1便目17%/21%、2便目25%/36%

### ノーマイカーデー実証実験 効果

事前調査では700台の転換が見込まれていた

朝の通勤約8,100台のうち、199台が転換(約2%)

自動車交通量・旅行速度は削減までに至らず

#### 地域社会面

- 公共交通への転換が限定的だったため渋滞緩和を体験するには至らず
- 地域への便益として、**環境面・安全面は発現**したが、時間短縮効果は得られず

#### 公共交通面

- バスの**新規需要の獲得**
- 公共交通転換層の**80%が利便性を評価**
- 運行頻度、バス待ち環境、定時性などへの改善要望が多く上がった

#### 従事者面

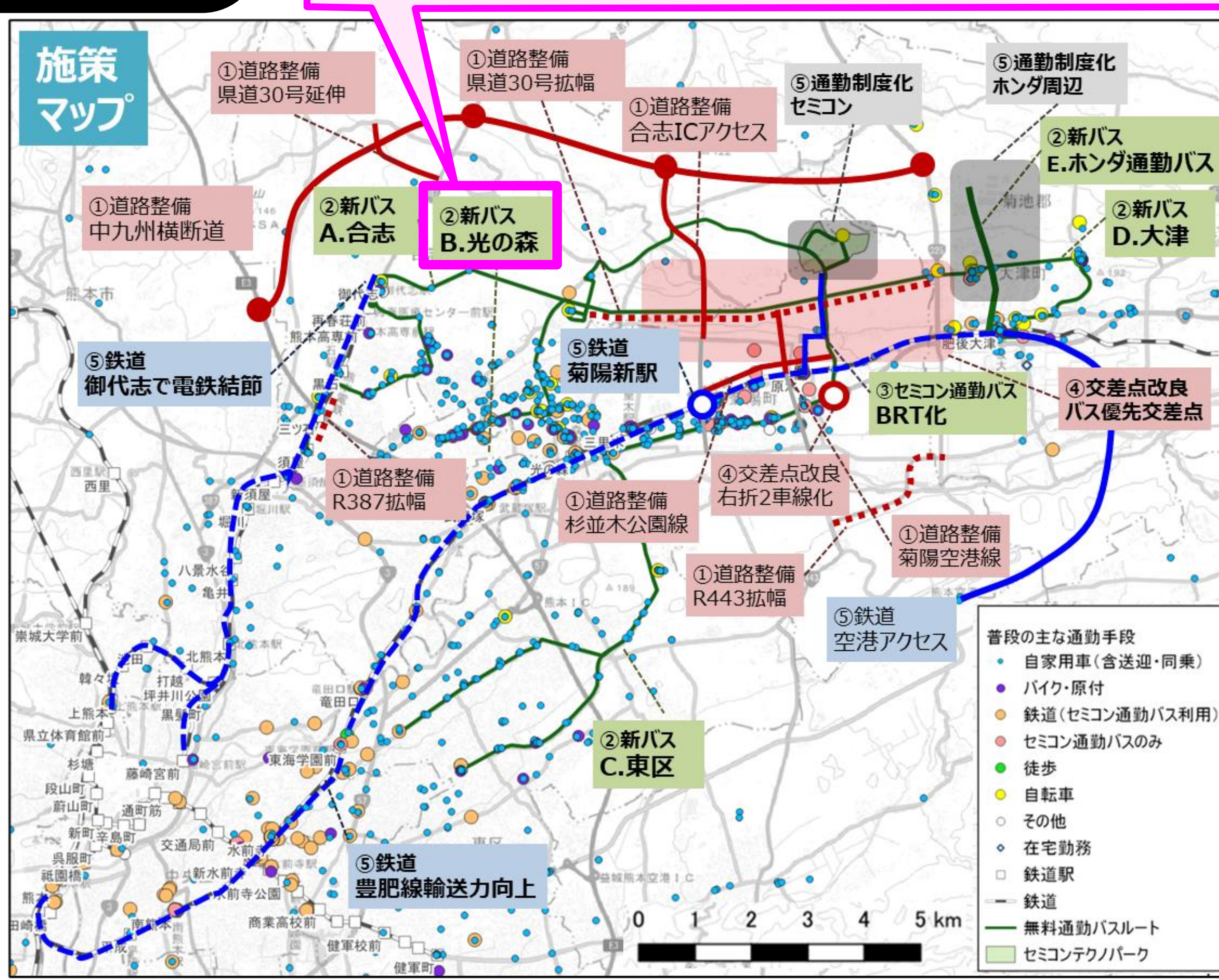
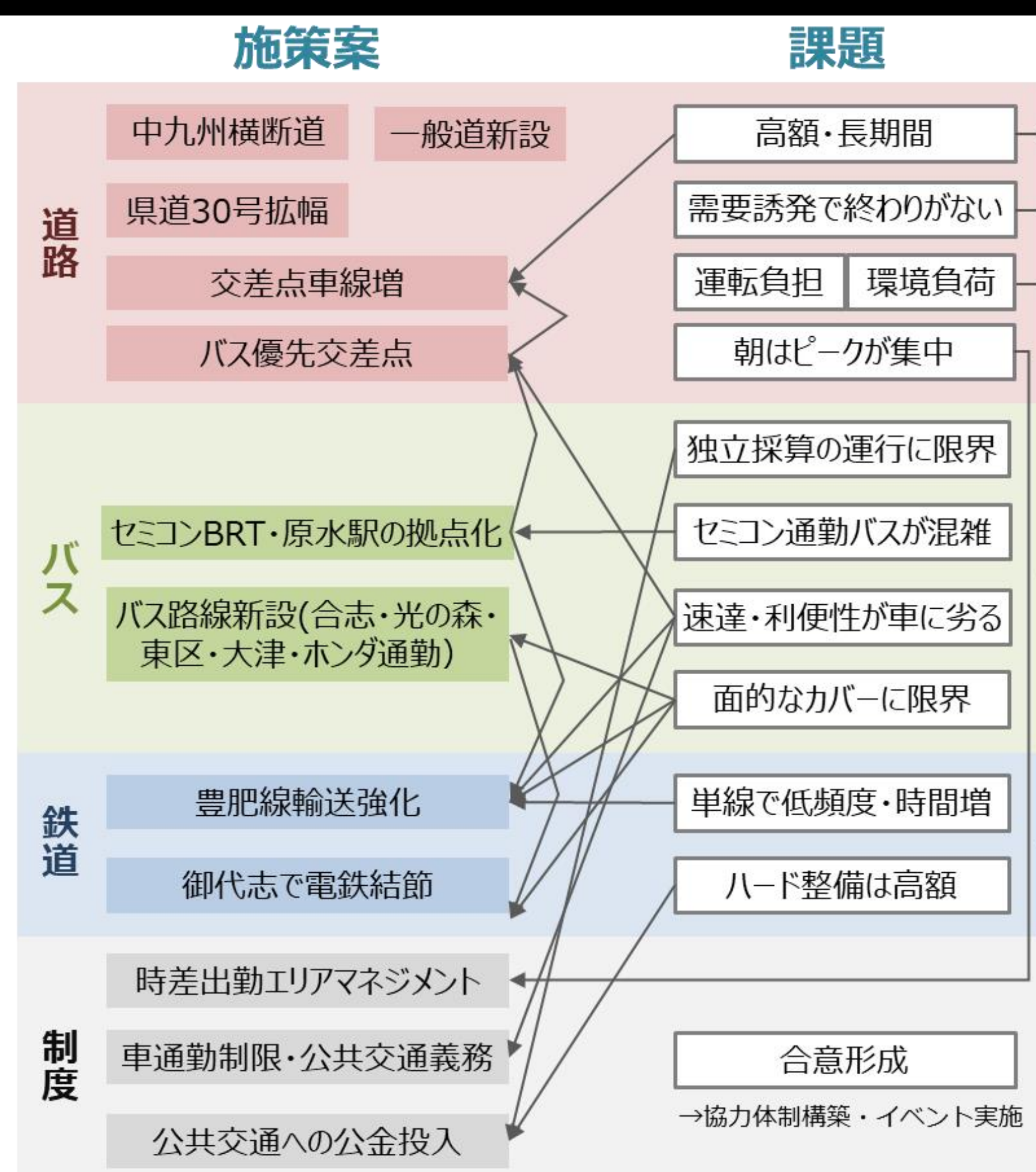
- 公共交通への動機は「**運転の負担軽減**」や「**通勤時間の有効活用**」「**地域課題(渋滞・環境など)の解消**」
- 渋滞緩和に向けた**公共交通の充実について84%から支持**

### 今後の展望

明らかになったこと

- ◆公共交通への転換層の感度
- ◆公共交通サービス充実に向けた課題
- ◆道路整備や通勤需要調整なども含めた総合的な計画の立案の必要性
- ◆地域関係者の協働による解決への期待

世界的半導体企業等の産業集積を長期的に支える交通を、総合的・効率的に作り上げる



今年度は熊本県が本格運行に向けて実証実験を進行中！！  
第2弾:9月実施済み  
第3弾:1~2月有償実証予定